

競技上 及び 審判上の注意事項

中野区少年軟式野球交流大会

本大会は、公認野球規則、及び全軟連規定を適用します。但し次の規定を優先する。

- ① ベンチは組み合わせ番号の若い番を一塁側とし、三塁側は、先攻とする。
- ② 試合は7回戦とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らないこととする。
- ③ 参加資格は少年(中学)は2年生以下、学童(小学生)は5年生以下少年・少女の同一支部内で編成した支部登録のある単独チームとする。尚、補強は認めない。
不正出場その他の規則違反に対しては大会規定により処理する。
- ④ 延長戦は行わず、7回終了時又は上記時間を過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は最大2イニングまでとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝敗を決定する。決勝戦は9回までは補回とし、それでも決しない場合は特別方式を適用しこれを繰り返す。
《特別方式》特別方式は継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者として、二・三塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死満塁の状態にして試合を行う。
- ⑤ 得点差によるコールドゲームは、4回終了以降10点、5回以降7点差、及び降雨、日没による5回以降続行不可能となった時とする。正式試合の成立は4回完了時とする。
- ⑥ 学童は投手が変化球を投げることを禁止する。投げたときのペナルティーは競技者必携を参照。
- ⑦ 学童はベース板は固定しない。(走者・野手の衝撃でベースが移動した場合、野球規則7.08C付記2.3を適用する)
- ⑧ 用具については打者・走者・次打者は、両側にイヤラップのついたヘルメットを着用する事。尚、ベースコーチも着用する事。又、捕手はプロテクター・レガード・ヘルメット・マスクを必ず着用する事(攻守交代時の投球練習時も同様着用する事)
金属・ハイコンバットは、J. S. B. Bマークの入った物を使用すること。
学童に限り金属製のスパイクの使用を禁止する。
- ⑨ ボークについては1回目から宣告します(ベンチからのアピールは慎むこと)
- ⑩ 抗議の出来る者は、監督と当該プレーヤーとする。(判定についての抗議は認められない)
- ⑪ 相手チームへの個人的な又、品位のないヤジは認めない(注意・警告又は退場の処置をとる)
- ⑫ 開始予定時刻30分前に大会本部(審判控え)にメンバー表4枚を提出して検印を受け、1枚を自チームの控えとする。※ 原則として開始予定時刻に集合しないチームは不戦敗とする。
- ⑬ 監督に限りグラウンドに出て指示等を行うことが出来る。尚、その際は小走りマウンドを往復しなければならない。試合前の練習等においても監督・コーチ(登録された3名以内)以外は、グラウンドには入れない。
- ⑭ 背番号は選手0～27(主将10)の20名以内と、監督30 コーチ29. 28番、登録は男女を問わない。
- ⑮ ベンチ入りは監督・コーチ2名・代表者・スコアラー・引率責任者の(何れもチーム帽子着用)の計6名と登録された10名以上20名以内の選手とする。
尚、選手9名での試合は、認めない。
- ⑯ 青少年の健全育成活動の一環として、グラウンド周辺のゴミの処理を選手に呼びかけ、各自持ち帰りを指動していただきます。
- ⑰ グラウンドルールは審判長の指示に従って下さい。
- ⑱ 試合中、又、球場への往復の際の事故について応急処置は致しますが、主催者側は一切責任を持ちませんので、ご注意の上、ご参加下さい。

平成24年 1月

中野区少年野球連盟